

# 聖書が教える「信仰」(I)

講演  
I

ルカ文書における信仰

山崎ランサム和彦氏

リバイバル聖書神学校校長

1970年大阪生まれ。東京大学、同大学院を修了。修士(理学)。その後渡米しベテル神学校、トリニティ神学校に学ぶ。哲学博士(Ph.D)。専攻は新約聖書学。現在、リバイバル聖書神学校校長。日本福音主義神学会中部部会理事長。著書に『平和の神の勝利(ブレイズ出版)』『聖書神学事典(項目執筆、いのちのことば社)』などがある。ブログ「鏡を通して」も随時更新中。

講演  
II

なぜ「彼」は引き合いに出されたのか？

—パウロによる「アブラハムの信仰」再考—

大坂太郎氏 ベテルキリスト教会牧師

1968年北海道生まれ。桜美林大学で中国語を学び語学習得の楽しさに目覚める。その後シンガポール・バイブル・カレッジの中国語神学部で神学修士(M.Div.)を取得。北海道での牧会を経てシンガポールに再留学。英語神学部で神学修士(Th.M.)を取得。専攻は新約聖書学。2002年から2010年まで中央聖書神学校(日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団)にて教鞭をとる。2010年から現職。現在日本福音主義神学会東部部会理事長。社会福祉法人同仁学院理事。

昨年の罪の問題を基盤に、今年は信仰について考えたいと願っています。キルケゴールが正しく指摘したように、聖書の時代の信仰とは一時に終わるものではなく、一生涯の仕事であり、信じるという技量は時間をかけて作り上げるものです。今回の研究会がその技量を磨くための相互研鑽の一助となれば幸甚です。皆様の来会を心から歓迎いたします。

福音主義神学会東部部会理事長 大坂太郎

6/13月

14:00-17:00 (公開研究会)

お茶の水クリスチャンセンター508号室

\*研究会に先立ち、13時から会員を対象にした総会を行います。

—この研究会に関するお問い合わせは—

TEL/FAX 042(985)5444

Email:taro\_oosaka@ag-j.or.jp(大坂まで)

入場  
無料  
(献金有)